

千人針

寺田寅彦

青空文庫

去年の暮から春へかけて、欠食児童のための女学生募金や、メガフォン入りの男学生の出征兵士や軍馬のための募金が流行したが、これらはいつの間にか下火になった。そうしてこの頃では到る処の街頭で千人針せんじんはりの寄進が行われている。これは男子には関係のないだけに、街頭は街頭でも、何となくしめやかにしとやかに行われている。それだけに救世軍の鍋などはよほどちがった感じを傍観者に与えるものである。如何にも兵隊さんの細さ君いくんらしい人などが赤ん坊を負ぶっているのに針を通してやっている人がやはり同じ階級らしいおばさんや娘さんらしい人であつたりすると実に物事が自然で着実でどうにも悪い心持のしようがない。そうした事柄が如何にも純粹に日本的だという気がするのである。迷信だと云つてけなす人もあるが、たとえ迷信だとしてもこれらはよほどたちのいい迷信である。どの途迷信みちは人間にはつきものであつて、これのない人はどこにもない。科学者には科学上の迷信があり、思想家には思想上の迷信がある。迷信でたちの悪いのは国を亡ほろぼし民族を危うくするのもあり、あるいは親子兄弟を泣かせ終つひには我身を滅ぼすのがいくらでもある。しかし千人針にはそんな害毒を流す恐れは毛頭なさそうである。戦地の寒空の塹壕ざんごうの中で生きる死ぬるの瀬戸際せとぎわに立つ人にとつては、たった一片の布片ぬのきれとは云え、

一針一針の赤糸に籠められた心尽しの身に沁みない日本人はまず少ないであろう。どうせ死ぬにしてもこの布片をもって死ぬ方が、もたずに死ぬよりも心淋しさの程度にいくらかのちがいがかりはしないかと思われる。戦争でなくても、これだけの心尽くしの布片を着込んで出で立つて行けば、勝負事なら勝味からみが付くだろうし、例えば入学試験でもきつと成績が一割方よくなるであろう。務め人なら務めの仕事の能率が上がるであろう。

一針縫うのに十五秒ないし三十秒かかるであろうし、それに針や糸を渡し受取り、布片を延べたり、○印を一つ選定したりするにもかれこれこれと同じくらいはかかる。それであとからあとから縫い手が押しかけてくれればともかく、そうでないとすると一分に一針平均はよほど六ヶむっしいであろう。しかし仮りに一分に一つとしても、千針に対しては十六時と四十分を要する。八時間労働としても二日では少し足りない。なかなか大変な仕事である。閑人の道楽ならばいいが、仕事のあるお神さんやおばさん達にはあまり楽な仕事ではなさそうである。

上野広小路の喫茶店へはいった。年若い芸者を二人連れた若旦那の一组がコーヒーをのんでいる。その前に女学生が二人立っている。二人の芸者はそれぞれ一つずつ千人針の布片を手にもったままで女学生と何かしら問答している。千人針が縁となってここに二つの

かなり遠くかけはなれた若い女の世界が接近して、互にいくらか物珍しい興味をもつて交渉しているのである。若旦那も時々助太刀すけだちに出かける。それが大変に丁寧な言葉を遣つかっているのに対して女学生の言葉が思いの外にぞんざいである。問答ばかりでなかなか容易には肝心の針の方に手が行かない。対話の末に、今日の四時何十分とかに出発する人々に贈るのだということがわかつてからやつと針が動き始めて間もなく出来上がった。その前にその給仕の少女等にも縫ってもらったのだと見えて、これにも礼を云つてさつさと出て行つた。若旦那が、僕は御役に立たないがせめても、といったようなことを云つて、そうして「万歳」と云つて片手を上げた。それはとにかく、この場合はたった二針縫つてもらうのに少なくとも十分はかかったようであつた。四時何十分の汽車に間に合つたかどうか、それは知るよしもない。

日清日露戦争には嚴いつくしま島神社のしゃもじが流行したように思う。あれは「めしとる」という意味であつたそうである。千人針にもついでに五銭白銅を縫付け「しせんを越える」というおまじないにする人もあるという話である。これも後世のために記録しておくべき史実の一つである。いずれにしても愛あいきょう嬌きょうがあつて、そうして何らの害毒を流す恐れのないのみならず、結果においては意外に好果をも結び得る種類の事柄である。これに反し

てどんなにもつと恐ろしい色々の迷信が今の世に行われて、そのためにどんなに恐ろしい害毒を流しているか、そっちの方が実に大切な問題だという気がする。国家国民の将来を危うくするような迷信が眼前の日本に流行してはいないか。よくよく心を落付けて反省してみなければならぬ。

(昭和七年四月『セルパン』)

青空文庫情報

底本：「寺田寅彦全集 第七巻」岩波書店

1997（平成9）年6月5日発行

※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ヶ」（区点番号5-86）を、大振りにつくっています。

入力：Nana ohbe

校正：noriko saito

2004年11月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

千人針

寺田寅彦

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>